鳥沼公園で実施している自然環境調査

博物館活動

投稿者：:

Posted on : 2022-2-1 0:00:00

　鳥沼公園は富良野盆地内では希少なハンノキが優占する湿地林で、開拓以前の原風景を残す貴重な自然環境です。当館では、環境保全のための情報収集を目的として、以下の定期的または単発の自然環境調査を行っています。

　この記事ではそれらの調査の調査方法や場所、一部の調査結果を紹介します。

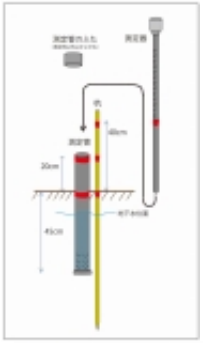
◆定点撮影（大まかな林相の把握）

14か所（うち２か所は林冠）の地点で撮影（撮影地点は以下の通り）。

⇒　定点撮影＆地下水位調査の直近の調査結果

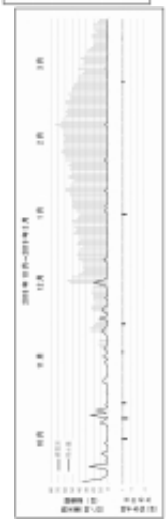
◆地下水位測定

３か所（全て「ハンノキの林」内）に測定管を設置し、年間約20回計測（測定の仕方と測定地点は以下の通り）。

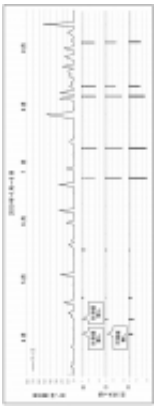


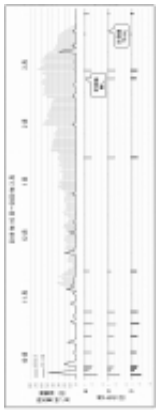
測定方法・器具　　調査地点

過去の測定記録（「富良野市博物館報告 第2号」より抜粋）



2018年度前半　　2018年度後半

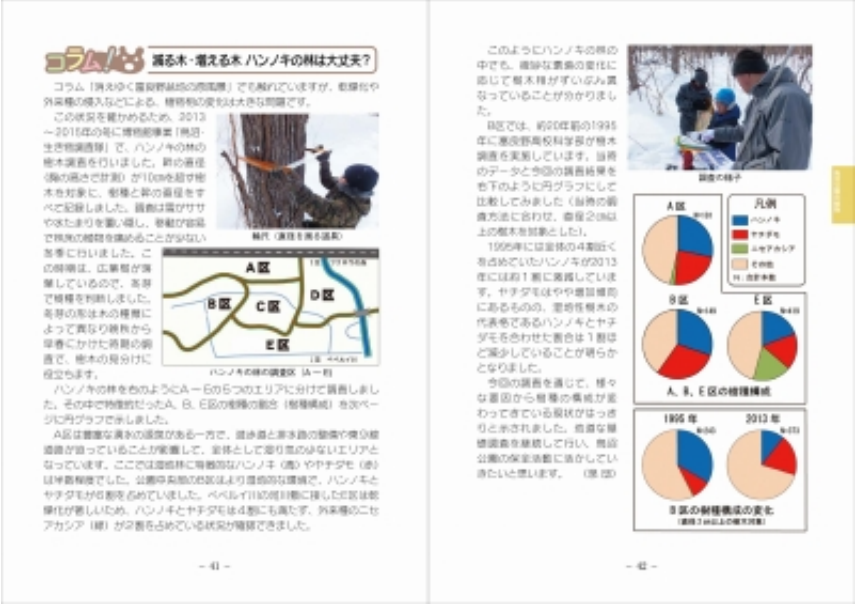




2019年度前半　　2019年度後半

◆林相調査（毎木調査）
2012年ー2014年自然調査ワークショップ「鳥沼生き物調査隊」で実施

調査結果概要（自然観察ガイドブック「富良野の自然に親しむ 鳥沼公園をめぐる」より抜粋）



　その他にフェノロジー、地表性哺乳類、春植物、底生生物、土壌動物（以上、自然調査ワークショップの一環として実施）、ヘイケボタルの出現数などの調査を実施しています。

【保全の取り組みが必要と考えられる課題】
・地下水位の減少による乾燥化とそれにともなう生物相の変化（林相の変化・ヘイケボタルの減少など）
・散策路の拡大による樹木の減少
・枯損木（安全性に問題のないもの）の撤去による野鳥・昆虫・菌類などの生息場所の減少
・オオハンゴンソウ、ニセアカシア、アズマヒキガエルといった外来種の侵入